
マニキュアを使った気孔の観察

岐阜大学教育学部附属中学校 林 伸彦

どんな観察なの？

気孔は植物のからだの表面にあるとても小さな穴です。植物は、それを開いたり閉じたりすることで、生きるために必要な水分などの調節をしています。だから、気孔は小さいけれど、大切な穴なのです。

ここでは、お母さんやお姉さんが、おしゃれする時に使うマニキュアを使って気孔を簡単に見る方法を紹介します。覚えたら、身のまわりに植物についても調べてみてください。

実験のしかたとコツ

用意するもの

- ・透明なマニキュア ・ 幅広の透明な粘着テープ（セロハンテープでよい）
- ・透明なプラスチックシート（OHPシートでよい） ・ 顕微鏡（150倍程度のもの）

やり方

調べたい部分の表面にマニキュアをぬる。 ぬったマニキュアを乾かす。

マニキュアをぬった面に粘着テープをはる。 粘着テープから植物をていねいにはがす。

シートに粘着テープをはって、顕微鏡で観察する。

こんなことも調べてみよう

・気孔は植物のからだのどこに多いのだろうか、 ・植物の種類によって大きさや形、数に違いがあるのだろうか、 ・気孔はどんな時に開いて、どんな時に閉じるのか...などについても調べてみよう。きっと、楽しい研究になるよ。